



学校だより

ぶさそう

〒735-0005 安芸郡府中町宮の町五丁目4番28号

TEL 082-282-3181 FAX 082-282-3182

URL <https://fuchuchu.fuchu-town.ed.jp/>

令和7年12月19日

第9号

府中町立府中中学校

校長 東 秀樹

学校教育目標：「人間に^{じんかん}学び 志を育てる」

2学期、各学年とも頑張りました！

*****【第1学年】フィールドワーク(11/27)*****

1年生は、総合的な学習の時間「探究：椿」で、地域貢献(平和)プロジェクトを進めています。「受次伝～変えよう平和な世界へ」というスローガンのもと、広島平和記念公園へ行き、自分たちが設定した課題に関わる企画を行ってきました。また、外国からの観光客にインタビューすることにより、広島の知名度や関心度を調査してきました。

生徒たちは、積極的に外国からの観光客に英語で話しかけ、その方々が考える「平和」について、メッセージをいただきました。



*****【第2学年】生き方を考える会(11/4)*****

2年生は、総合的な学習の時間「探究：志」で、「生き方を考える会」を行いました。和泉 崇司様(AnBee 株式会社代表取締役、山陽女学園理事、俳優)、菊池 安芸子様(文筆家、元地域おこし協力隊)、黒住 奏様(一般社団法人 8th River Hiroshima 代表理事)、月山 翔雲様(シンガー・タレント)、戸田 隆矢様(レモン農家、元プロ野球選手)、中山 智博様(Meat tech Inc.代表取締役社長)の6名をゲストにお迎えし、それぞれの方のこれまでの「生き方」についてお聞きしました。また、参加者全員が小グループに分かれ、「生きていくうえで大切なこと」について、互いに話し合いました。生徒たちは、いろいろな人の考えを聞き、「自分の生き方」について深く考えることができました。ご参加いただいた保護者の皆さん、ご協力ありがとうございました。



*****【第3学年】保育実習(12/2～)*****

3年生は、家庭科の学習として、府中ひかり保育園・第二府中ひかり保育園、ピッコロゴード保育園、こんごう保育園で保育実習を行っています。

園児の皆さんと触れ合う中で、その純粋でかわいい姿に接し、生徒たちはやさしい笑顔で学校へ戻ってきます。

乳児・幼児との関わりを通して、多くのことを学ばせていただきました。



《全国学力調査結果概要のお知らせ》

令和7年度 全国学力・学習状況調査 正答率 3年生 4月18日(木)実施

◎ 平均正答率の状況(本校・県・全国)

	国 語	数 学	理 科
本 校	57	50	510
県平均	55	47	495
全国平均	54.3	48.3	503

※理科は 500 を基準とするIRTスコアで表示されます。

◎ 本校の課題

国語は、話すこと・聞くこと「資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるか」(正答率 28.8%)、数学は「式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるか」(正答率 22.8%)、理科は「小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造について学習する場面において、共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈することができるか」(正答率 34.4%)等が課題として明らかになりました。

今後、中学校・高等学校の学習、入試、そして社会においても様々な場面で、様々な情報を整理・分析し、整理・分析する中で自分の考えを構築し、その考えを説明したり表現したりする機会が増えてきます。普段から様々なことに興味・関心を持ち、本や新聞記事などを読むことを通して、言葉の力を付けていくことが重要です。さらに、その言葉の力を活用し、自分の考えを、相手に伝わりやすいように表現していく力を磨いていくことも必要です。これらの力の定着のためには、より一層、授業での意欲的な学ぶ姿勢と家庭学習の定着が求められます。

◎ 今後の取り組み

国語…提案や主張など、自分の考えを話したり、それらを聞いて質問や助言を行ったりする学習活動を設定する。これらの活動を通して、自分の考えだけを主張するのではなく、主張を支える根拠となる情報を収集し、その情報を効果的に取り入れる工夫について考察させる。これにより、複合的な視点で表現できる力の育成を図る。

数学…言葉や式などの数学的な表現を用いて、論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりする学習を充実させる。その際、自分の考えをペアやグループの中で説明し検討し合う活動を設定し、簡潔かつ適切な表現ができるように指導する。

理科…生徒自身に仮説を立てさせ、実験手順や観察の意味を考えさせる学習活動を充実させる。また、実際の観察記録やデータを用いて考察・推論を深める活動を取り入れる。これらの活動により、理解の深化と科学的思考力の向上を図る。

今回の調査結果の分析を通して明らかになった本校の課題を、今後指導内容や指導方法の改善に生かし、さらなる学習活動の充実を図ってまいります。